

にしめら 議会だより



2018 7月
No.150

発行：西米良村議会

上米良地区 向江棚田

肉付け予算などを審議

3月に行われた村長選挙により6期目となる黒木定藏村長

の政策経費などを盛り込んだ肉付け予算などを審議する、平

成30年第2回臨時会を5月1日に1日間の会期で開催し、報告7件、条例改正1件、補正予算1件などの審議を行い、全会一致で原案どおり可決しました。

次代を担う 若者の育成へ

40歳以下の若者を対象とした

ヨーロッパへの海外視察研修事業「明日への翼」1千107万円や村内観光施設等へのWi-Fi・スマート構築業務委託395万円など

2億41万円を追加し、補正後の総額を27億3千781万円とする一般会計補正予算を議員全員の賛成で可決しました。



平成29年度予算の状況

◆一般会計

2億3千741万円を追加

総額29億2千685万円

◆国民健康保険事業勘定会計

1千397万円を追加

総額3億3千261万円

◆国民健康保険診療施設勘定会計

既定の予算において歳入歳出を調整

総額2億7千512万円

◆簡易水道事業

404万円を追加

総額4千569万円

一般会計補正予算 質疑応答

問1 地域内循環型経済活性化モ

デル事業の活動構想は?

答1 村内で生産消費することで生まれる地域内経済循環の特性を生かし、糸巻大根、伊勢イモ、ジ

ビエ等の情報発信やパッケージデザイン作りなどを行い消費拡大や活用推進を目指すことと、他の農産物の村内各施設での利活用の可能性を探る。

問2 配食サービス事業委託の詳細は?

答2 独居老人や老老介護世帯への支援で当面は週2回、夜の食事提供を計画している。運営形態は天包荘に委託したいと考えている。

問3 明日への翼事業とは?

答3 村内の10代～40歳114名（転勤族を除く）を対象に、ヨーロッパへ視察研修に派遣し、次世代リーダーや村づくり実践者としての資質を高めるのが狙いで、研修後は村づくりの積極的参加や将来の西米良を考えるに資するような視察をして頂きたいと考えている、予定としては、10月6日～13日の8日間で、1回目は15名程度を予定してい

問4 研修旅費40万円の
内容は?

内容は？

答4 認定こども園の移行に向け、万全の体制で

問7 村内観光施設等
交付することで安心して
出産に臨んで頂くための
事業である。

これらをもとに30年度に実施設計を行い31・32年度の2ヶ年で整備をしていくと考へてある。

■ 土地の負担調整措置

■医療費が高校生まで無料

き上げるもので



答6 妊婦さんへの出産
をサポートする事業で、
村内に新生児用品を買
いそろえる場所がないこと
と、出産前1ヶ月は不安
を抱える時期もあるの
で、出産に必要な物品を

ト化の整備を合計13基程度予定している。

た対応をいち早く行うため必要な教材を導入し教職員の研修や事例の勉強に活用し実施していく。いと考へてある。

国民健康保険税の基礎
課税額に係る課税限度額
を58万円に引き上げ、減
額対象世帯の軽減判定所
得基準額について5割軽
減を27万5千円、2割軽
減を50万円にそれぞれ引

ーブ等を活用し発信していきたいと考えている。

答8 各觀光施設及び觀光トイレの和式から洋式は?

その中で小学校におけるプログラミング教育が導入されることとなり、学

問5 米良バイト募集用映像制作業務とは？

双子キャンプ場の一部、
おがわ作小屋村、湖の駅
村所驛待合室、菊池記念
館、百菜屋等に整備した
いと考へてゐる。

担をして新規就農者が研修を行う事業である。
は？

園に実務研修に派遣する
もの。

答7 Wi-Fiの設置場所

答10 県の基金を活用し
中央会、JA、村とで負

問7 村内観光施設等
Wi-Fi構築業務での設置
場所は?

問10 新規就農研修助成事業負担金の内容は？

■国保税の課税限度額が引上げ

一部改正されました。

医療費の一部負担金助成の対象範囲を現在の中学生以下から高校生以下までに広げるものです。また、高校等入学の都合上、生徒が住所を村外に

平成30年第2回臨時会における議員賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名	結果	1	2	3	4	5	6	7
			中武 智和	白石 幸喜	上米良 玲	瀬砂 勝義	上米良 秀俊	中武 勝文	瀬砂 恒光
報告第2号	専決処分した事件の承認について(西米良村税条例等の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	専決処分した事件の承認について(西米良村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分した事件の承認について(平成29年度西米良村一般会計補正予算(第12号))	可決	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号	専決処分した事件の承認について(平成29年度西米良村特別会計国民健康保険事業勘定会計補正予算(第4号))	可決	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号	専決処分した事件の承認について(平成29年度西米良村特別会計国民健康保険診療施設勘定会計補正予算(第4号))	可決	○	○	○	○	○	○	○
報告第7号	専決処分した事件の承認について(平成29年度西米良村特別会計簡易水道事業補正予算(第4号))	可決	○	○	○	○	○	○	○
報告第8号	専決処分した事件の承認について(平成30年度西米良村一般会計補正予算(第1号))	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	西米良村子育て支援医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成30年度西米良村一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○



各常任委員会の

調査結果を報告

議会閉会中に継続調査を実施

平成30年第2回定例会を6月8日に1日間の会期で開催し、総務文教・農林振興建設常任委員会による継続調査について委員長より報告が行われたほか、先決処分の承認などの報告2件、条例制定1件、補正予算3件などの審議を行い、全会一致で原案どおり可決しました。

また3名が一般質問を行いました。

女性消防団員が誕生

本村において初となる4名の女性消防団員の誕生により活動服などの備品購入費62万円、各地区公民館に設置してあるAEの更新などのコミュニティ助成事業223万円など1千39万円を追加し、補正後の総額を27億4千821万円とする一般会計補正予算を議員全員の賛成で可決しました。



特別会計の状況

◆国民健康保険事業勘定会計

72万円を追加

総額2億6千523万円

◆介護保険事業勘定会計

123万円を追加

総額2億1千157万円

第2回定例会 質疑応答

問1 ふるさと振興基金等各基金の運用基準は?

答1 各基金とも目的を持つた財源であり、その目的に沿った運用をしている。今後も必要に応じた基金運用をしていく。

問2 ワークショップの内容は?

答2

一般会計 繰越明許費 繰越計算書

昨年度から試行的に開始した米良バイト等の運用体制強化のほか、活動内容を村民に周知するための新聞作成も行う。

平成29年度事業のうち、社会資本整備総合交付金事業による古川橋、中之藪橋に係る工事請負費を含む事業6件、5千606万円を平成30年度へ繰越を行いました。



条例改正

国保税率がUP

将来的に市町村保険税の統一化が想定される中、今後段階的に引き上げを行っていき、急激な国保税の上昇を抑制することを目的に改正するもので、医療給付費分の税率を100分の7・39から100分の7・60へ国民健康保険税条例の一部が改正されました。

■指定業務が県から村へ委譲

居宅介護支援事業所の指定業務が平成30年4月から村に委譲されたことにより、今後既存事業所の有効期限満了時や新たな居宅介護支援事業所が参入する場合は、介護保険法に定められた事業所の人員体制や運営基準等を網羅しているか等国及び県が示すひな形により村も基準を定める条例を整備するものです。

平成30年第2回定例会における議員賛否表

○は賛成

×は反対

議案番号	議案名	結果	1	2	3	4	5	6	7
			中武 智和	白石 幸喜	上米良 玲	濱砂 勝義	上米良秀俊	中武 勝文	濱砂 恒光
報告第10号	専決処分した事件の承認について(西米良村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○
報告第11号	平成29年度西米良村一般会計繰越明許費繰越計算書	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	西米良村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成30年度西米良村一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成30年度西米良村特別会計国民健康保険事業勘定会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	平成30年度西米良村特別会計介護保険事業勘定会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○

むら創生課「交流及び定住人口対策について」村民課「村内の交通機関について」調査を行った。

移住事業については、27・28年度は、定住促進住宅の整備もあり転入者はある程度の実績を上げることができた。人口維持の効果の観点では、自然動態における死亡者数過多のため減少傾向が続いているが、相対的にはU・Iターンで約80名の方が来られている状況であり26年度より始めた移住相談も27年度をピークに年間40～50件の相談がある。相談を受けた中で移住に繋がつた方や事業所移転や部門新設での転入もある。また、都市圏相談会も定期的に行つてPRをしている状況で、雇用情報の提供も村のHPやお知らせ等で紹介をしている。

お試し短期滞在費助成制度の状況については、4件12名の移住実績に繋がっている。空き家対策は26年度より空き家バンク制度を開始している。実績としては少

平成29年度継続調査

総務文教常任委員会

ないが空き家の有効活用の点からは、今後も継続していきたい事業であるとのことであった。

移住事業の課題として

は、特にIターンの田舎暮らしを希望する世帯が望む条件の空き家が無いことと、Uターン者等の若い世代が希望する職場環境が少ないとなどの問題がある。地域や産業での人手不足が慢性化しているため移住者の受け入れの継続、Uターン者促進の対策、村が空き家を借り上げ改修し貸し出すなどの取り組みや、新たな山村定住住宅の整備と併せて、失敗の少ない移住を目指すために移住検討時に地域の方との面接や、お試し滞在施設などの整備なども検討して

いく必要があるのでないかとのことであった。

内での交通機関について

説明を受けた。

本村では、コミュニティバスを平成20年10月より運行開始し、小川、上米良、湯前の3路線を運行している。乗務員は4名で、車両は4台あるが、1台を予備車として3台で運行をしている状況となっている。

乗務員は、嘱託でお願いしているが30年度中に2名の方より退職の申し出があり募集を行う予定をしており、車両についても走行距離が延び、入ても走行距離も来ている。利用の現状は、車を所持していない方や、高齢者による定期便で運行は試行錯誤をしているが、これといった打開策が見つからないのが現状とのことであった。

利用者数の減少に伴い運賃収入も減少傾向にあるため、人口減少などを考慮すると何らかの対策が必要となつてくるとのことであった。

公共交通機関であり高齢化の進む本村では大変重視されている方との意見交換を行った。

福祉健康課よりバス・タクシー兼用の乗車券を発行して頂き、高齢者の方に利用して頂いている。一般の利用促進について

意見もある。オンデマンド運行や、幅を持たせた運行も考えて行くべきではないのかとの意見もあつた。

また、村営バスのバス停及びベンチについての停及びベンチについての設置してある個所があるが、利用客がある程度固定されるのであればバス停とベンチの位置を住宅地に近づけるなどの改善も必要なではと感じた。

次に、小川地区に定住されている方との意見交換では、定住の決め手となつたこととして、子育て支援の充実や自然に囲まれた環境の中で子育て

などの利用が多くを占めている。

利用促進と言うことで、の意見としては、乗客減少となる要因を的確に掴んで、村外からの利用客もいるので、施設の近

くなら施設名のバス停には観光目的で乗車される方も多いので、施設の近傍で運行が分かり易いのではと考えたところである。

が出来ることや、すぐに住める家を借りることができたこと、移住担当者の対応が良かつたこと、

の利便性の向上や、代行運転があれば助かるとの意見もでた。

また、村や地区の行事に参加する機会も多いの

ではとの質問では、面倒くさくはないが、出る機会のことになつたこと等であった。

また、住んでみて不便に感じてることについ

ては、特段無いが子供が遊べる小さな公園があれ

じているとのことである。

これから消防や婦人会などの出方で、お互に家を空けることが出てくる

と思うが協力し合って

査を行つた。

農林振興建設常任委員会では、建設課及び農林課の事業について継続調査を行つた。

まず、繩瀬地区導配水管布設替工事は、導水管

1千690メートル及び消火栓1基の更新、配水管515メートル、給水管引込み

8箇所の新設工事で、水道を利用している家庭の

平成29年度継続調査 農林振興建設常任委員会

ものである。また、スカラートはもぐり防止、飛び込み防止に効果的である。まだ設置したばかりなので全体的な効果は確認できていないが、田んぼの片隅に植えられた数本の梅の木が、毎年枝や新芽を食べられるのに、柵を着々と整えられている。

次に、ワイヤーメッシュ柵整備の調査を行つた。

この事業内容は、地区の所得向上計画に基づき、鳥獣被害を防止するため

鳥獣被害を防止するためのワイヤーメッシュ柵の設置で、実施主体は西米良村有害鳥獣対策協議会である。

今年の結果が良ければ設置してからは食害がないことであつた。

米の収穫時期も獣害がないと思われる。

ボーリを蹴るなどのスペースが無いなどの意見も頂き、他の意見としては、他の地区のお母さんたちと交流をしようとなつた場合に、遠方の地区のお母さんたちは、泊まつて迷惑を掛けるわけにはい

かないからと遠慮する場合が多いので、タクシー

に参加することについて

向うな意見も聞かせて頂き、意見交換を通して移住定住者から見た西米良の魅力に気付いていない

部分が、まだまだあるのだと改めて感じたところである。

大雨の時、濁りや断水の心配が少なくなり良かつたと大変喜んでおられた。また、給水量が1日平均450tであったのが170tに減少し、280tもの漏水が

物、苗木、緑化木を護る

ことである。また、スカラートはもぐり防止、飛び込み防止に効果的である。まだ設置したばかりなので全体的な効果は確認できていないが、田んぼの片隅に植えられた数本の梅の木が、毎年枝や新芽を食べられるのに、柵を着々と整えられている。

次に、ワイヤーメッシュ柵整備の調査を行つた。

この事業内容は、地区の所得向上計画に基づき、鳥獣被害を防止するためのワイヤーメッシュ柵の設置で、実施主体は西米良村有害鳥獣対策協議会である。

今年の結果が良ければ設置してからは食害がないことであつた。

米の収穫時期も獣害がないと思われる。

西米良村議会だより

8



一般質問

・濱砂 恒光



携帯電話の不感地域解消について

▼ しっかりと要望活動を行っていく

村長

用できないエリアがあるのも事実であり村民の方からも、使用できる環境を整備してほしいという声を聞いており、国道、県道沿いにおいては村内全て使用できる対策を講じてほしいと思うところである。村長の考えを伺いたい。

ここ数年間に村内の至る所で携帯電話各社のアンテナが設置されエリアの拡大が図られており村内の多くの地域がカバーされている。今や、携帯電話は生活の必需品でもあり、特に災害時や緊急を要する場合など必要不可決である。しかしながら各地に於いては使

のも事実である。また、基地の整備については採算性など事業効果がないのが一般的な解釈であり、国における電波利用の不均衡を是正する補助制度を活用して基地局が整備されている所である。現在各電話会社によるプローチを行っており、その結果、今年度中に1社が受信状況の調査をする予定である。また、他の会社が来年度にかけて、国道沿線や県道の数ヵ所で基地局の整備について検討していくというよう

のも事実である。また、組んでいきたい。今後どうか具体的な情報は得てないが携帯電話会社に對してはしつかりと相談しまた要望活動をして参りたい。

・上米良玲

うな利便性を享受するとも事実である。また、言うことを目指して取り組んでいきたい。今後ど名と要職に就かれている方で構成されている、西米良村新庁舎建設特別委員会に諮り検討を進めて現在に至っているが、西米良村新庁舎建設特別委員会については、発足以來3回程度しか開催されていないと聞いている。

各種検討委員会での意見の事業への反映は

▼ 村民の意見を聞き事業に反映したい



構成されるプロジェクトについて、役場職員で構成されるプロジェクトを明確にされている中で、委

チームで練り上げた案を村民からの一般公募の2名と要職に就かれている方で構成されている、西米良村新庁舎建設特別委員会に諮り検討を進めて現在に至っているが、西米良村新庁舎建設特別委員会については、発足以來3回程度しか開催されていないと聞いている。また、要職に就かれている方の役員改選に伴い委員の交代もあり、代わられた委員については、これまでの委員会の経緯の説明をされたとのことだが、その様な状況で委員会としての役割は十分に果たせられたと言えるのであろうか？

そして、完成年度が明確にされている中で、委

用できないエリアがあるのも事実であり村民の方からも、使用できる環境を整備してほしいという声を聞いており、国道、県道沿いにおいては村内全て使用できる対策を講じてほしいと思うところである。村長の考えを伺いたい。

ここ数年間に村内の至る所で携帯電話各社のアンテナが設置されエリアの拡大が図られており村内の多くの地域がカバーされている。今や、携帯電話は生活の必需品でもあり、特に災害時や緊急を要する場合など必要不可決である。しかし種類によつては、送受信が利用できない所がある

員会の任期を完成までとは出来なかつたのか、また委員会で出された意見は事業に反映されていたのだろうかと疑問に思うところである。

現在、基金を積み立て

今後事業が予定されているキャンプ場のリニュー

アルや認定子供園の施設建設についても、新庁舎建設の様に検討委員会を立ち上げ検討をなされていくのかを伺いたい。

村長 プロジェクトチー

ムについては、段階的に専門家も交え27回の会議を行なう練り上げた案を、特別委員会に上げるやり方で3回程行つた。

双子キャンプ場につい

ては、すでに検討を行つており基本計画案を作成



村長

現在建設中の役場

度煮詰めてから皆さんの意見を聞く様にしたいと考えている。

検討委員会については、運営に携わる米良の庄や外部の専門家、役場関係などでの内部検討で十分ではないかと思っている。

認定こども園につきましても児童福祉法などの

安心と楽しみのある老後のために

▼ できる限りの努力をする



・中武 智和

規制を遵守しながら調整を行つてあるところで、と認識している所である現在職員1名を施設に出向させ、その後の体制づくりの勉強をさせている状況で検討委員会まで行

う必要は左程ないのではと認識している所であるが、村民の皆様の声を聞く機会を設けてお伺いしたいと思っている。

村長

社会福祉協議会に

よる外出支援事業は極めてご利用いただいており利用者の方々に喜んでいたいている。今後も事業強化に取り組んで参りたい。買い物支援については、現在もイベントなどで高齢者が村外等に行く際はその都度買い物も楽しんでいただく機会を設けている。今後も意識的に機会を作つていきたが日常の買い物は村内でお願いしたい。今年度、ヨツピングツアーやシヨツビングツアーワー等を行つてみてはどうか。

問

高齢者の暮らしをもう少し便利に、楽しみを増やすために現在の買い物・外出支援に加えてシヨツビングツアーやシヨツビングツアーワー等を行つてみてはどうか。

ン導入に関して以前質問を行つたが、現在の整備と検討状況についてどのようになつてゐるか。

ユニバーサルデザイン度の高い村づくりの為にハード、ソフト両面からユニバーサルデザインの視点の積極的な活用を推進していきたい。

社会福祉協議会と店舗層の地域支援共同事業とい

う買い物支援事業を行う
が詳細については今後決
定することとしている。



問

ホイホイラインに安否確認方法や難聴者向けの視覚的な着信機能を持つせられないか。

村長

今のホイホイラインにはアンケート機能があるで使っていただく方がいれば見守りの一つの方法となる。難聴者向けの電話の着信機能については現在のところ極めて難しいが今後機器の更新期に合わせて研究は進めていきたい。

高齢者の介護や社会保障などは誰が行うのかということであるが、最初からすべてを公が行うものではなく、自立していだすこと、そして家族が第一義的にはしっかりと広げることも極めて大切であり、その人が出来ないときに公が行うからこそ、みんなで見守りをしてみんなで安心な村づくりを行う、そんな考え方を広げていきたいと思う。最後まで幸せを感じていただく村づくりに向けてこれからもできる限りの努力をしていきたい。

障などは誰が行うのかと
いうことであるが、最初

からすべてを公が行うも
のではなく、自立してい
ただすこと、そして家族

が第一義的にはしっかりと
するという考え方を村の中にも広げることも極め

りをしてみんなで安心な
からこそ、みんなで見守

国道219号整備促進合同協議会 50年を迎えました

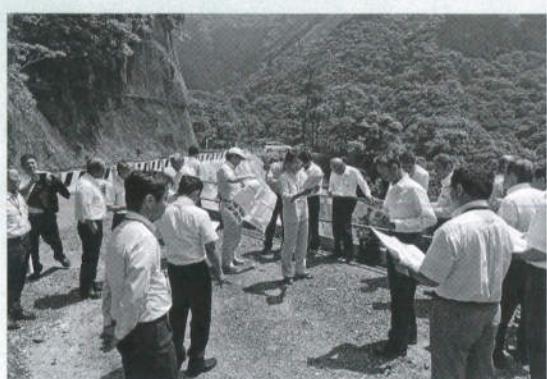
湯前町、西都市、西米良村の三市町村議会による国道219号改良整備促進のための合同現地調査を5月16日に実施しました。今回の現地調査結果とこれまでの整備状況を踏まえ7月に宮崎・熊本両県に更なる整備促進を要望します。

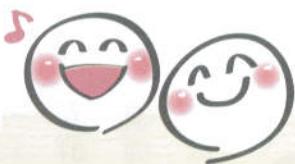
また、当協議会は設立50周年となり現地調査終了後、多くの関係者をお迎えし西都市において記念式典を開催しました。



半世紀にわたり国道219号の整備促進にご尽力いたいた宮崎・熊本両県の関係者の皆さまをはじめ、本協議会活動へ力強くご支援をいたいた各市町村長並びに地元県議会議員・国会議員の皆さんに衷心より厚く感謝申し上げます。

今後も未改良区間の早期整備実現に向けてしっかりと要望活動をして参ります。





ほっこりコーナー

宮崎西米良会総会が開催されました

宮崎西米良会のことをご存知でしょうか？

本村出身者の方を中心に親睦と西米良村の振興発展に寄与することを目的として設立された組織であります。その平成30年度総会が5月19日（土）宮崎市内のホテルで創立40周年記念行事と併せて盛大に開催されました。創立40周年記念行事では、古川信夫教育長の“今に息づく菊池の精神”と題した記念講演がありました。

西米良会の主な活動ですが、「にしめら山まつり」への大型バスツアーによる参加、「やまびこ花火大会」への協賛、「県市町村対抗駅伝大会」へのハチマキ贈呈、「ふるさと村民制度」への加入案内等多くのご協力・ご支援を頂いております。これからも本村の強力な応援組織として大いにご活躍されることを願うばかりです。

濱砂金徳会長が会員をもっと増やして更に活動を充実させていきたいと話されていました。村外に居住されこの西米良会に興味を持たれる方がおられましたら、ご加入いただくようご案内していただければ幸いです。



いよいよ本格的な夏がやってきます。気を付けたいのが熱中症です。昨年は油断して軽い熱中症にかかりそうになりました。今年は、大きな麦わら帽子と携帯飲料水で草むしりを頑張ります。皆さんも熱中症には充分気を付けて元気に夏をのりきりましょう！

（こうき）

議会広報編集特別委員会
委 員 長
副 委 員 長
上 米 良 玲
濱 砂 中 武
勝 義 智 和
白 石 幸 喜



編集後記